

# 子 吉 川 水 質 情 報

子吉川水系水質汚濁  
対策連絡協議会  
事務局  
国土交通省東北地方整備局  
秋田河川国道事務所  
秋田市山王一丁目10-29

## 第154号の主な内容

○平成29年10月～12月の水質環境調査結果の概要（国土交通省、秋田県）

## 水質事故を起こさないために！ ～日常からこまめな点検を～

毎年、暖房用灯油の取り扱いが増える冬期間は、一般家庭や事業所の油類タンクから灯油などが漏れ、河川に流れ出す水質事故が増えます。

水質事故は、灯油などの流出が約9割以上を占め、原因別では4割以上が機器の操作ミスや管理不備などの人為的な単純ミスによるものとなっています。

事故が発生した場合、油の回収や処理には約50万円もの費用がかかります。その費用は事故を起こした方（原因者）が責任をもって負担しなければなりません。事故を未然に防ぐため、日頃から以下の点に気をつけましょう！

- ・ ホームタンクから灯油を分けるときは、その場を離れない。
- ・ 屋根からの落雪や除雪時の灯油缶の破損に注意し、配管位置に目印を立てて管理する。
- ・ 配管やホームタンクは定期的に点検する。

※ 万一、水質事故を起こした、または発見した場合は、すみやかに近隣の国や県の機関、市町村役場、消防署、警察署へ連絡をお願いします！



【油流出事故に備え、11月7日(火)に由利本荘市岩城の着々野川で現地訓練を実施しました。】



## 子吉川で結氷が確認されました!



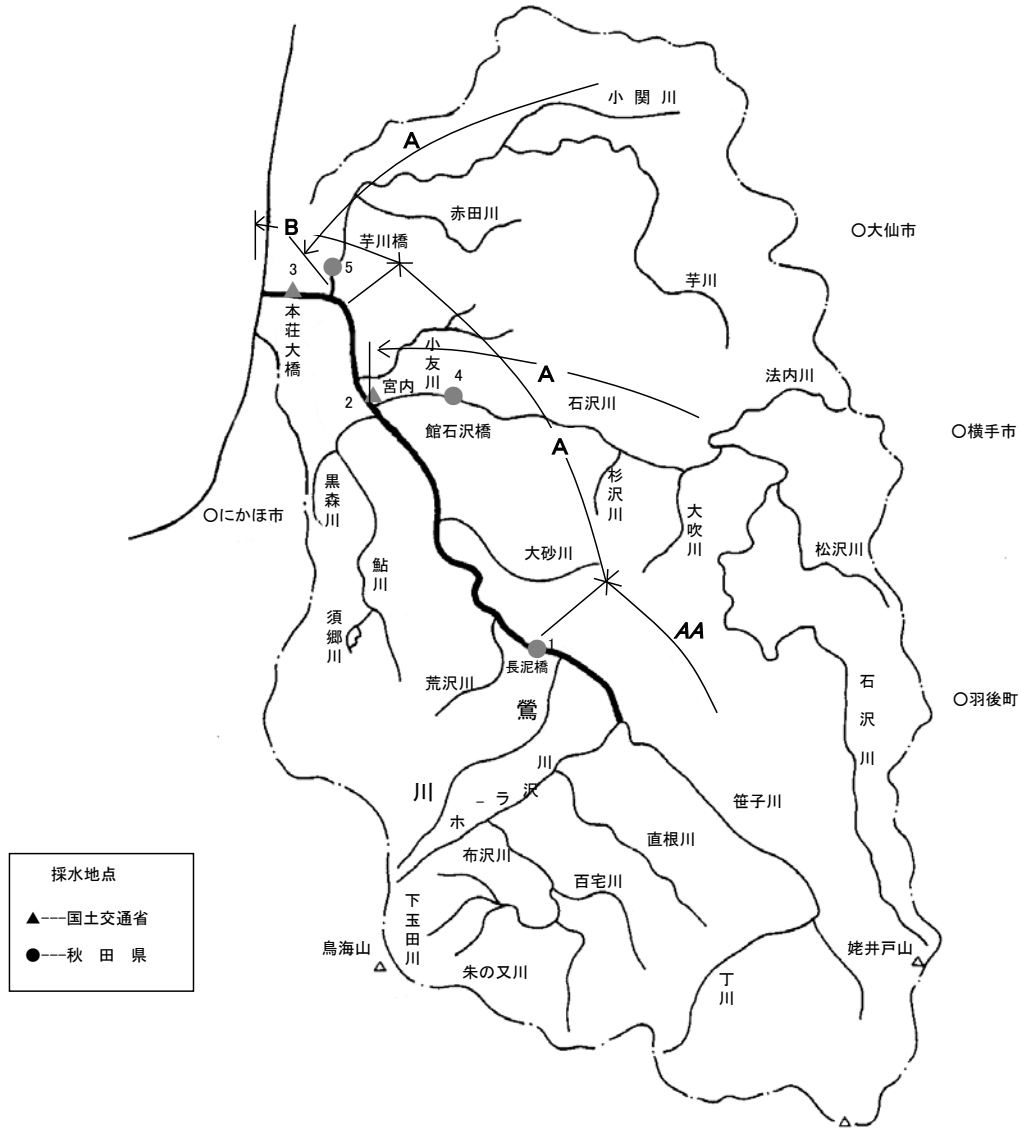
1月25日(木)、子吉川で結氷が確認されました。

結氷とは、気温が低い時期、川の表面の水が凍る現象の事を言います。

東北地方の河川は、雪国ならではの低温と降雪により、雪が表面を冷やして結氷しやすくなる傾向にあります。

水の下は、**水が流れていて危険**ですので、絶対に氷の上に乗ったりしないでください。また、船舶の航行にも十分に注意してください。

平成29年度 子吉川水系水質環境調査地点図



## 平成29年度子吉川水系水質環境調査結果（国土交通省）

### 1. 水 質 の 概 況

平成29年10月～平成29年12月までの子吉川（秋田河川国道事務所管内）の水質調査結果は次のとおりである。

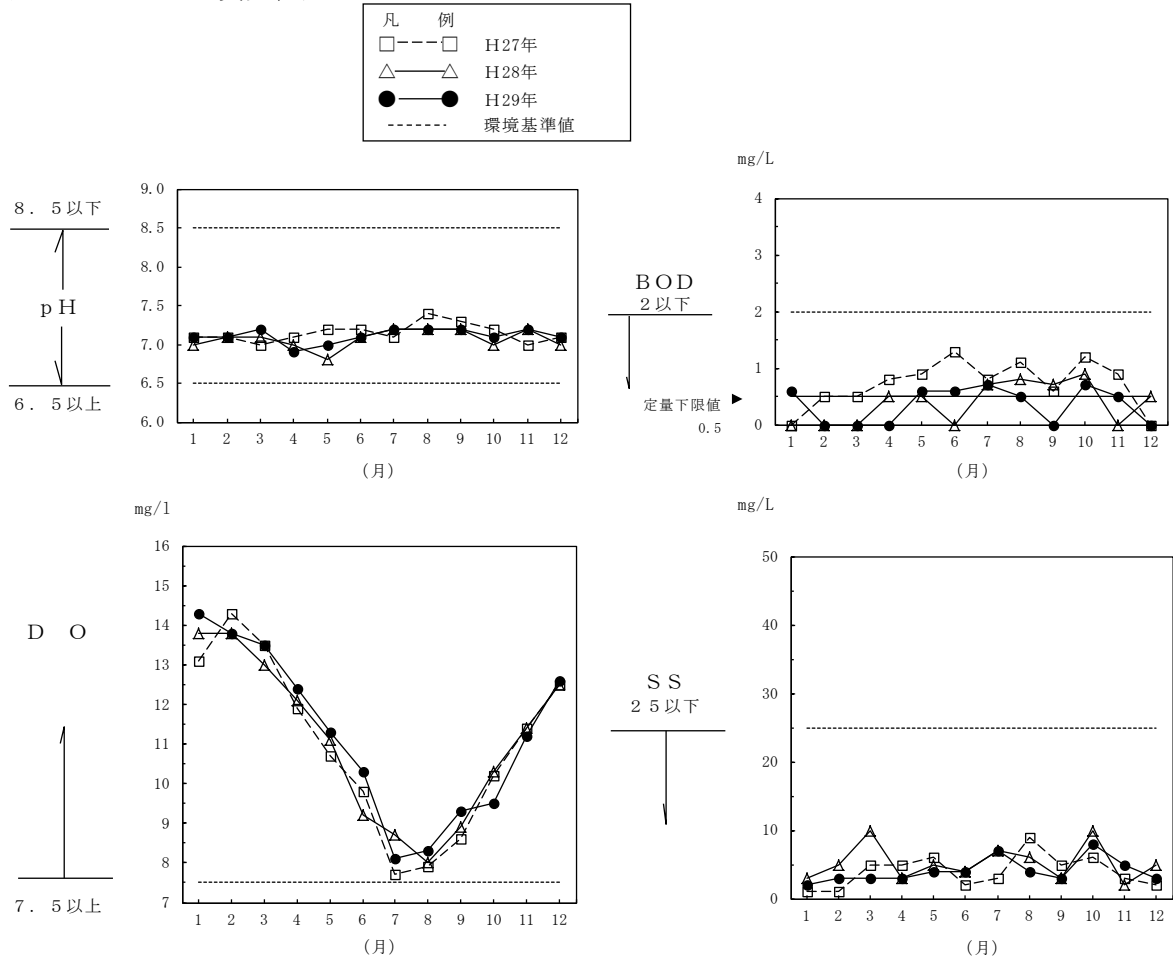
調査地点……宮内、本荘大橋

#### 1) 生活環境項目

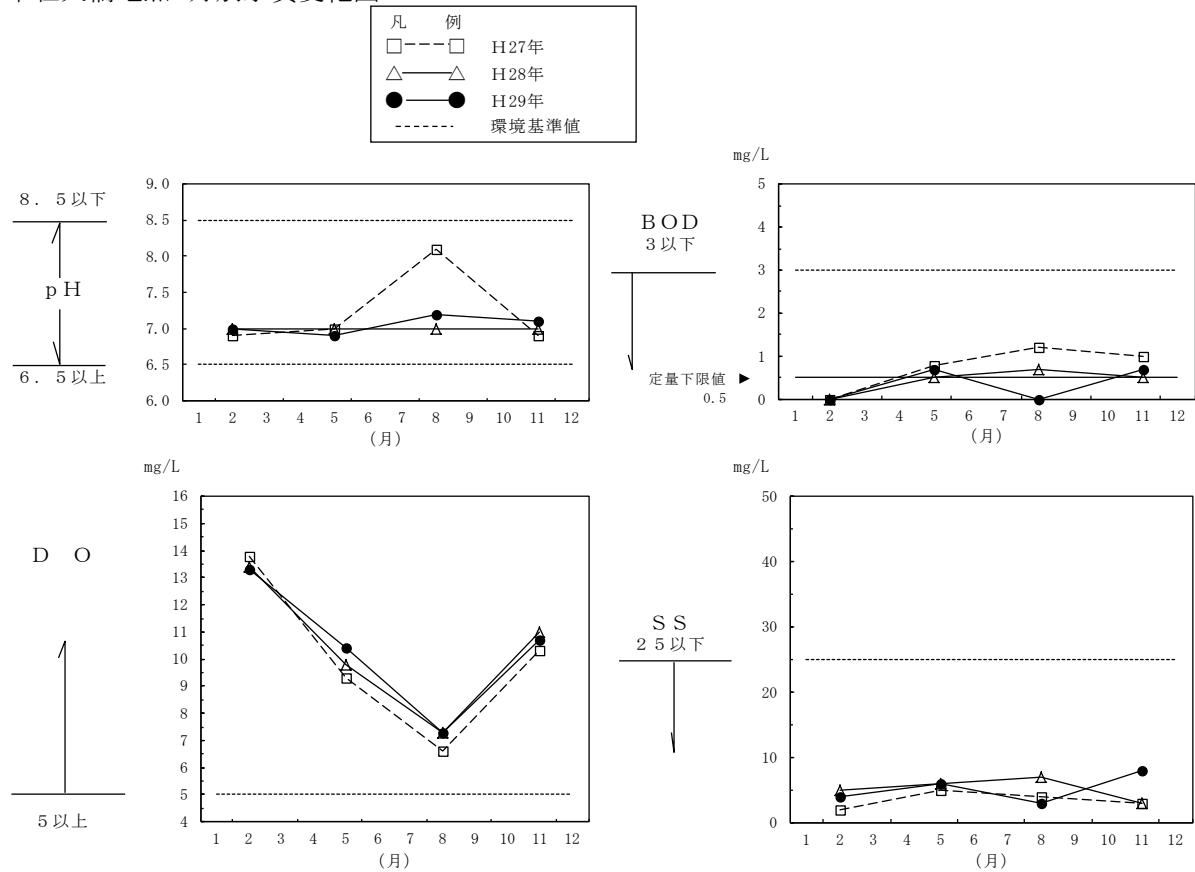
① pH値、DO値、BOD値及びSS値については、各地点とも環境基準値を満足していた。

② 大腸菌群数については、10、11月に宮内地点で環境基準値を上回っていた。

宮内地点 月別水質変化図



本荘大橋地点 月別水質変化図



平成29年度 子吉川水系水質環境調査結果表 (平成29年 10月 ~ 12月) 国土交通省

地点 番号	地名	採水 月日	採水 時刻	天候	気温 (°C)	水温 (°C)	生活環境項目										健康項目 (I)						その他項目 Cu (mg/L)	類 型					
							pH	DO (mg/L)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)	Zn (mg/L)	Cd (mg/L)	T-CN (mg/L)	Pb (mg/L)	Cr <sup>6+</sup> (mg/L)	As (mg/L)	T-Hg (mg/L)	PCB (mg/L)							
2	宮内 (子吉川)	10/11	8:45	雨	17.5	16.2	7.1	9.5	0.7	4.4	8	$4.9 \times 10^4$	0.45	0.036	0.013														
		11/15	8:50	曇	9.5	9.1	7.2	11.2	0.5	2.5	5	$4.9 \times 10^3$	0.32	0.020	0.004														A
		12/13	9:10	曇	0.0	1.8	7.1	13.6	<0.5	1.5	3	$3.3 \times 10^2$	0.37	0.014	0.007														
3	本荘大橋 (子吉川)	11/15	9:30	曇	10.3	9.6	7.1	10.7	0.7	3.4	8	$4.9 \times 10^3$	0.45	0.038	0.010														B



環 境 基 準

1. 生活環境の保全に関する環境基準（河川）

項目 類型	利用目的の適 応 性	基 準 値				
		水素イオン 濃 度 (pH)	生物化学的 酸素要求量 (BOD)	浮遊物質 量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数
AA	水道1級 自然環境保全及 びA以下の欄に掲 げるもの	6.5以上 8.5以下	1mg/L 以下	25mg/L 以下	7.5mg/L 以上	50MPN /100mL以下
A	水道2級 水産1級 水浴及びB以下の欄 に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	2mg/L 以下	25mg/L 以下	7.5mg/L 以上	1,000MPN /100mL以下
B	水道3級 水産2級 及びC以下の欄に 掲げるもの	6.5以上 8.5以下	3mg/L 以下	25mg/L 以下	5mg/L 以上	5,000MPN /100mL以下
C	水産3級 工業用水1級 及びD以下の欄に 掲げるもの	6.5以上 8.5以下	5mg/L 以下	50mg/L 以下	5mg/L 以上	—
D	工業用水2級 農業用水 及びEの欄に掲 げるもの	6.0以上 8.5以下	8mg/L 以下	100mg/L 以下	2mg/L 以上	—
E	工業用水3級 環境保全	6.0以上 8.5以下	10mg/L 以下	ゴミ等の浮遊 が認められな いこと	2mg/L 以上	—

第1の2の  
(2)によ  
り水域類  
型ごとに  
指定する  
水域

項目 類型	水生生物の生息状況の適 応 性	基 準 値			該当水域
		全亜鉛	ノニル フェノール	直鎖アルキルベンゼンスル ホン酸及其の塩	
生物A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及び これらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L 以下	0.001mg/L 以下	0.03mg/L 以下	第1の2の (2) により 水域類型 ごとに 指定する 水域
生物 特A	生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場 (繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L 以下	0.0006mg/L 以下	0.02mg/L 以下	
生物B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれら の餌生物が生息する水域	0.03mg/L 以下	0.002mg/L 以下	0.05mg/L 以下	
生物 特B	生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場 (繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L 以下	0.002mg/L 以下	0.04mg/L 以下	

2. 人の健康の保護に関する環境基準

項目	カドミウム	全シアン	鉛	六価クロム	ヒ素	総水銀	アルキル水銀
基準値	0.003 mg/L以下	検出されな いこと	0.01 mg/L以下	0.05 mg/L以下	0.01 mg/L以下	0.0005 mg/L以下	検出されな いこと

項目	PCB	ジクロロタン	四塩化炭素	1,2- ジクロロエタン	1,1- ジクロロエチレン	シス-1,2- ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン
基準値	検出されな いこと	0.02 mg/L以下	0.002 mg/L以下	0.004 mg/L以下	0.1 mg/L以下	0.04 mg/L以下	1 mg/L以下

項目	1,1,2- トリクロロエタン	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,3- ジクロロプロペン	チウラム	シマジン	チホノルブ
基準値	0.006 mg/L以下	0.01 mg/L以下	0.01 mg/L以下	0.002 mg/L以下	0.006 mg/L以下	0.003 mg/L以下	0.02 mg/L以下

項目	ベンゼン	セレン	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	ふっ素	ほう素	1,4ジメチル
基準値	0.01 mg/L以下	0.01 mg/L以下	10 mg/L以下	0.8 mg/L以下	1 mg/L以下	0.05 mg/L以下